

編集委員会から

ISSN と ISSN-L

ISSN (International Standard Serial Number, 国際標準逐次刊行物番号) は逐次刊行物に付与されている国際的な識別コードです [1]. 8桁のアラビア数字, もしくは7桁のアラビア数字にアルファベットの大文字の X が付いた 8 文字で表されます (8 文字目はチェックデジットであり, X も用いられます). 最初の 4 文字と後の 4 文字は “-” (ハイフン) でつながれて表記されます. 日本食品工学会誌の場合, 冊子体の ISSN (Print ISSN) は 1345-7942 であり, 学会誌の表紙の右上に記載されています. 冊子体, CD-ROM, オンラインジャーナル, などの複数の刊行媒体がある雑誌には, 媒体ごとに別の ISSN が付与されます. 日本食品工学会誌の場合, J-STAGE での論文の公開も行っていますので, Online ISSN (Electronic ISSN, e-ISSN などと表記されることもあるようです) が付与されており, 1884-5924 となっています. ISSN と類似の番号に ISBN (International Standard Book Number, 国際標準図書番号, 13 桁) がありますが, ISSN では ISBN と異なり, 番号から出版国名や出版社の名前は分かりません.

ISSN-L をご存じでしょうか? 日本食品工学会誌のように複数の刊行媒体がある場合, 媒体を問わずに検索するために, ISSN-L (Linking ISSN) が設けられています [1]. 日本食品工学会誌の ISSN-L は冊子体の ISSN と同じ 1345-7942 です. 日本食品工学会誌の Print ISSN, Online ISSN, および ISSN-L は J-STAGE の日本食品工学会誌のトップページ (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jsfe/-char/ja/>) の右上に記載されています.

ISSN は国際的な規格である ISO 3297 に基づいて逐次刊行物に付与されます. 国際的には ISSN ネットワークが ISSN を管理しています. ISSN ネットワークは, フランスのパリにある ISSN 国際センター (<https://www.issn.org/>) と各国の ISSN ナショナルセンターから構成されています. 日本国内では ISSN は ISO 3297 の対応規格である日本産業規格 JIS X 0306 に基づいて, ISSN 日本センターを引き受けている国立国会図書館 (<https://www.ndl.go.jp/jp/data/issn/index.html>) が逐次刊行物に付与しています [1].

ISSN 国際センターは, ISO 4 に準拠した雑誌名の省略形を定める業務もサポートしています [2]. 2 年前, 筆者は編集委員長として ISO 4 の省略形を確認するために ISSN 国際センターへ電子メールでお尋ねしたことがあります. 丁寧に回答していただきました (「“Taste” の省略形は “Tast.” ではなく, “Taste” のまま用いる. ISO 4 の 3.1 の規則を読むように.」とのことでしたが, 所属の附属図書館に ISO 4 が所蔵されていなかったのを他の図書館から借りて確認しました).

この原稿を執筆している 2024 年 8 月現在, パリではオリンピックが開催されており, テレビではパリ市街の風景も映し出されます. ISSN 国際センター (14 人で運営されているようです) はノートルダム寺院の北, 1 km のところにあります. 日本食品工学会誌の編集には, 日本から 1 万 km 離れたパリの ISSN 国際センターにもお世話になっていることを思い出しました.

References

- 1) 柳澤健太郎; 国際標準逐次刊行物番号—ISSN, 情報の科学と技術, **71**, 232-235 (2021).
- 2) 田中孝明; 編集委員会から「ISO 4 に準拠した雑誌名の省略形」, 日本食品工学会誌, **23** (2), A-1-A-4 (2022). (<https://www.jsfe.jp/journal/kaiho/23/2302/k1.pdf>)

(新潟大学 田中孝明)